

研究課題名	収縮の保持された心不全(HFpEF)患者において心房細動アブレーションが効果的な背景因子の探索
研究期間	2026年4月15日～2026年7月31日
研究の対象	広島大学において、心房細動に対してアブレーションを受けられた方のうち、左心室の収縮能が保たれた心不全を合併している患者さん。
研究の目的・方法	心房細動は健康寿命を縮めてしまう重要な不整脈で、患者さんによってはアブレーション治療が有効です。特に左心室の収縮が低下した心不全患者様においては、アブレーション治療による心不全入院抑制などの効果が強いため、積極的に推奨されております。一方、同じ心不全でも、左室の収縮が保たれた心不全患者さんでは、効果の得られやすさが一定ではありません。これは、収縮の保たれた心不全というのは、加齢、肥満、高血圧、腎機能障害など複数の要因が重なって発病するため、患者さんの背景が一樣ではないからではないかと言われております。したがって、収縮の保たれた心不全患者さんの中で、どのような患者さんに対して、よりアブレーション治療が効果的であるかを知るとはとても重要なことと言えます。そこで当院では、過去に心房細動に対してアブレーションを受けられた患者さんのうち、左心室の収縮能が保たれた心不全を合併している方を抽出し、どのような方が将来的に心不全入院などを行っているかを、カルテ情報などからさかのぼって調査し、研究を行っております。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢・性別等の患者背景および検査所見、臨床経過等 情報の管理責任者：広島大学病院循環器内科 助教 大久保 陽策
利用または提供を開始する予定日	2026年4月15日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科循環器内科学 助教 大久保 陽策 研究機関の長 広島大学理事 田中純子
その他	ありません

研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院循環器内科 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 TEL)082-257-5555 (2310) 担当者：大久保 陽策</p>
-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------